



# 我が家の家計簿診断

ズバット!

## Q 『効果的な家計の見直し方法は?』

私は家計を預かる専業主婦です。

家計簿もきちんとして、節約はしているつもりなのですが、なかなか効果が実感できていません。将来、マンション・戸建て、いずれにしても住宅を購入したいと思っています。どうすれば効果的な家計の見直しができるのでしょうか?

## A 『固定費を減らす』という家計の見直しを。

今日は、いつもの住宅のお話とは少しだけ離れますが、実はご質問のような「家計の見直し」についてのご相談も多くいただきます。家計のやりくりにお悩みの奥様は多いですね。

アベノミクスで経済が回復し、「所得が上がるのでは?」と期待していたのですが、そう実感できた人はほとんどいないとか。失敗だったなんてことも言われていますよね。

特に2008年のリーマンショック以降は、額面収入は上がらないのに、税金や社会保険料の負担ばかり上がり、手取り収入が減ったという方も多くいらっしゃいます。現在の日本の財政状況からいくと、きっと今後も、手取りの収入が増えるということは期待しにくい時代になるでしょう。

そうは言っても、お子様の夢は叶えてあげたいし、マイホームだって欲しい。今日は、これからの時代を理想的に生き抜くために、ぜひ知っておいていただきたい効果的な家計の見直し、中でも「支出を減らす」という点にフォーカスしてお話し致します。

まず最初にやるべきことは、毎月出ていくお金を知ることです。

支出は大きく「変動費」と「固定費」に分けることができます。「変動費」には食費・交際費・光熱費などが挙げられ、また「固定費」には、家賃(住宅ローン)・生命保険料・自動車関連費などが挙げられます。

多くの方は、収入を変えられないことと同じく、「固定費」も減らすことができないと考えてしまうため、食費や交際費などの「変動費」を減らして、何とかやりくりしようとしがちなのです。ついにはご主人様のお小遣いまで減らしてしまうなんてことも…(泣)。しかしこれでは、どうしても生活レベルが下がりますし、なかなか続けられないですね。

そこで、やはり家計の見直しで効果的なのは『固定費の削減』なのです。なぜならば「固定費」は、一度見直して削減できれば、その効果は一定期間継続するからです。そして、生活レベルにもさほど影響はありません。

例えば、住宅ローン。ローン競争が激化している昨今、金利はかなり下がっています。お借り換えの場合、21年以上の支払い、金利固定で1.08%、20年以下の支払い、金利固定だと0.96%、という驚きの水準になっています(※2016年5月実行金利。融資手数料を除く)。住宅ローンを見直すことで、支払金額や支払期間が大幅

## マイホーム購入を検討中

小倉北区在住 Sさん家族

夫30歳(会社員)、妻30歳(会社員)、長女5歳、長男3歳(共に保育園児)

### 月間収入

夫(手取り)	270,000円
妻(手取り)	200,000円
児童手当	25,000円
計	495,000円

### 年間収入

【賞与】	
夫	550,000円
妻	330,000円
計	880,000円

### 月間支出

家賃(共益費/駐車場2台込)	71,000円
食費	35,000円
外食費(雑費を除く)	15,000円
光熱費(電気/ガス/水道)	22,000円
電話代(携帯/固定)	20,000円
通信費(NHK/ネット/ケーブル)	5,800円
交通費(ガソリン/有料道路)	25,000円
日用品代	15,000円
衣料費	13,000円
医療費(コンタクト含む)	10,000円
雑費/その他	15,000円
家族の娯楽費	25,000円
お小遣い(夫)	30,000円
お小遣い(妻)	30,000円
学資保険	17,000円
生命保険(夫)	20,000円
生命保険(妻)	12,000円
保育園費用	65,000円
貯蓄	40,000円
使途不明金(余裕資金)	9,200円
計	495,000円

### 【現在の貯蓄額】

現在の貯蓄額	3,200,000円
計	3,200,000円

### 年間支出

冠婚葬祭費	30,000円
自動車税(2台分)	69,000円
車検代(2台分:1年平均)	120,000円
自動車保険料(2台分)	190,000円
火災保険	10,000円
贈答費用(お歳暮/お中元)	30,000円
貯蓄	400,000円
使途不明金(余裕資金)	31,000円
計	880,000円

に削減・短縮したという方も多くいらっしゃいます。

その他、効果が大きいものとしては生命保険料です。月々何となく支払っている生命保険料ですが、住宅購入の次に高い買い物とも言われています。生命保険に加入した当時と現在とでは、ライフステージや家族構成も違っているのではないのでしょうか?必要な保障は、その時々で変わります。入りっぱなしにするのではなく、一度見直しをしてはいかがでしょうか。保険料が減り、将来の住宅費に回す、なんてことも可能かもしれませんよ!

収入を増やすことが難しい今の時代、「固定費」を減らすこと、または増やさないことが重要です。

参考になりましたでしょうか。最後に私が考える、節約を成功させるためにもっとも重要なこと。それは何のために節約するのか目標を持ち、ライフプランを立てることです。老後のご夫婦のライフスタイルや、将来のお子様の進学、住宅ローンのことなど、詳しくは、個別にご相談ください。細かく将来設計を立ててみましょう。



2016年度MDRT成績資格会員  
ライフプランアドバイザー  
相続診断士

草刈 隆男

kusakari takao

### プロフィール

1978年12月25日生まれ A型  
外資系保険会社を経て、お客様へのサービスの枠を広げるため総合保険代理店へと転身。幅広い年齢層の顧客へライフプランニングをしており、2カ月先まで紹介予約が入る人気プランナー。お世話になっている地域に、恩返しをしたいと消防団に所属。社会貢献にも力を入れている。

総合保険代理店  
(株)インシュアランスバンク  
TEL:093-382-0081  
メールアドレス: info@i-bank.jp

お悩みの方、朗報です。

あなたの  
家計簿

無料診断  
いたします!



お電話で「マイリビングを見た」とお伝えください!

TEL093-382-0081

株式会社インシュアランスバンク